

理科シラバス 高校2年

1. 学習の到達目標と評価の観点

(科目) 文系生物基礎演習	単位数	学科・学年・学級	使用教科書と補助教材
	2 単位	第2 学年	教科書：高等学校生物、高等学校生物基礎（第一学習社） 資料集：スクエア最新図説生物（第一学習社） 問題集：セミナー生物基礎＋生物（第一学習社） チェック&演習生物基礎
学習の到達目標	生物基礎の総復習および昨年度出来なかった実験・実習に取り組むと共に、大学入学共通テストに向けての問題演習を行う。生物基礎の基礎固めをすると共に、応用力を鍛える。		
評価の観点	科学的事実がどのような仕組みで関わりあっているのか、疑問を持ち、知識を活用し、他者と協働しながら、その疑問を解決しようとする姿勢がある。＜主体性・多様性・協働性＞		
	科学的法則や事象について理解を深めるべく、実証したり、それぞれの法則性や事象を比べたり、もしくは互いのつながりや影響を探究したり、自分の考えを発信したりすることができる。＜思考力・判断力・表現力＞		
	科学的事象や、実験もしくは観察結果について考察をする際、その資料を読みとるために必要な知識・技能を身につけられている。＜知識・技能＞		

【点数化が難しい課題については、観点別評価とする。】

- A：「十分満足できる」状況と判断されるもの
 B：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの
 C：「努力を要する」状況と判断されるもの
 D：未提出，未実施

2. 学習内容及び評価方法

月	単 元	学習のねらい	実験実習・学習のポイント
一学期中間	第1編生物と遺伝子 第1章生物の特徴	「生物の特徴」について、復習および大学入学共通テストに向けての問題演習を行う。 選択式の回答方式に慣れる。	・原核細胞と真核細胞の観察をおこなう。 ・顕微鏡の基本的使い方を復習する。 基礎知識の確認については小テストを行う場合がある。 問題演習では、各自で問題を解いた上で、生徒同士で学び合う機会を設ける。 授業内考査はマークシート方式を用いる。（以下、同様）

一 学 期 期 末	第1編 生物と遺伝子 第2章 遺伝子とその働き	「遺伝子とその働き」について、 復習および大学入学共通テストに 向けての問題演習を行う。	・DNAに関する簡単な実験実習を 実施する。
一 学 期 中 間	第2編 生物の体内環境の維持 第3章 生物の体内環境	「生物の体内環境」について、復 習および大学入学共通テストに向 けての問題演習を行う。	・体細胞分裂の観察を適宜行 う。 ・ブタの臓器を用いた実験を行 う。
二 学 期 期 末	第3編 生物の多様性と生態系 第4章 植生の多様性と分布	「植生の多様性と分布」につい て、復習および大学入学共通テス トに向けての問題演習を行う。 大学入学共通テスト過去問を解い て、総復習を行う。	・酵素カタラーゼの働き、煮干 しの解剖などを実施する。
学 期 末	生物基礎全範囲	総復習をおこないつつ、30 分間で 生物基礎の共通テストを解けるよ う問題演習を行う。	・実施できる実験や実習があれば行う。
評価の観点及び内容			評価方法（具体例）
科学的事実がどのような仕組みで関わりあっているのか、疑問を持ち、知識を活用し、他者と協働しながら、その疑問を解決しようとする姿勢がある。＜主体性・多様性・協働性＞			実験・実習課題提出
科学的法則や事象について理解を深めるべく、実証したり、それぞれの法則性や事象を比べたり、もしくは互いのつながりや影響を探究したり、自分の考えを発信したりすることができる。＜思考力・判断力・表現力＞			実験・実習課題提出、授業内 考查
科学的事象や、実験もしくは観察結果について考察をする際、その資料を読みとるために必要な知識・技能を身につけられている。＜知識・技能＞			授業内考查